

# 設備配線・配管

ここでの監理者の心構え

設備の配線や配管は現場チェックのタイミングとしては、工事のタイミングも工事範囲も広範囲にまたがる。木工事完了の前に行うべきものが多いが、仕上げ前のタイミングなら、何とか最低限の手直しで済むことが多い。手直しや、変更せざるを得ない状況も生じることがある。その場合でも、構造材や防水を痛めないよう、指示して確認することが必要になる。

工事名	工期	年	月	日 ( )
	監理責任者			

項目	ポイント	✓	チェック項目	
設備配線・配管	電気工事	<input type="checkbox"/>	受電位置に問題はないか	
		参考写真①	<input type="checkbox"/>	電気メーターは敷地内の検査しやすい場所に設置
		参考写真②	<input type="checkbox"/>	建物から離れた場所にインターホンなどを設置する場合、室内と室外をつなぐためのCD管による 先行配管(埋設配管)がされているか
		参考写真③	<input type="checkbox"/>	電話・TV・LAN 配線について、CD管が必要な場合、先行配管がされているか
			<input type="checkbox"/>	IH ヒーター用・エアコン用などの単独配線と専用回路が確保されているか(200Vを単独で確保する場合もある)
		参考写真④	<input type="checkbox"/>	外壁への配線貫通にCD管が使われているか 孔の位置と数を確認
		参考写真⑤	<input type="checkbox"/>	貫通部分がシーリングや防水テープで しっかり防水処理されているか
			<input type="checkbox"/>	根太レス工法の場合、無計画に胴差に穴をあけて 配線しないこと
		参考写真⑥～⑧	<input type="checkbox"/>	器具類の必要電気配線の位置や個数に間違いはないか
		参考写真⑨	<input type="checkbox"/>	CD 管等、梁の貫通は避けているか、問題ないか
		<input type="checkbox"/>	通電テストは行ったか	
	給排水工事	参考写真⑩	<input type="checkbox"/>	排水配管の勾配は適切か ( $\phi 75$ まで 1/50、 $\phi 75$ 以上 1/100 が目安)
			<input type="checkbox"/>	排水管が 2 重トラップになっていないか (器具にトラップがあるのに配管のトラップを 追加してしまうミス等)
		参考写真⑪	<input type="checkbox"/>	床下の配管が、点検の邪魔にならないように設置されているか
		参考写真⑫	<input type="checkbox"/>	床下点検口は人が通れるようになっているか
参考写真⑬		<input type="checkbox"/>	配管は正しく固定されているか	
参考写真⑭	<input type="checkbox"/>	配管の位置は正しく配置されているか		
参考写真⑮	<input type="checkbox"/>	配管に必要な防露・防音材が確実に施工されているか		

項目	ポイント	✓	チェック項目
設備配線・配管	参考写真⑯	<input type="checkbox"/>	ガスコンロの換気扇ダクトは、不燃処理しているか
	参考写真⑰	<input type="checkbox"/>	梁はできる限り切り欠かない 切り欠く場合は梁成、位置を確認、指示する
	給排水工事 参考写真⑱・⑲	<input type="checkbox"/>	エアコンの排水管に勾配が確保されているか (逆勾配にならないように)
		<input type="checkbox"/>	集中給排ダクトの場合、配管が所定の位置に すべてセットされているか
	参考写真⑳	<input type="checkbox"/>	エアコンスリーブや換気口スリーブなどの取付位置は 設計通りか
	参考写真㉑・㉒	<input type="checkbox"/>	縦引き配管の場合、配管が壁内に無理なく納まっているか
		<input type="checkbox"/>	水圧テストを行ったか(木工事完了時)

メモ